ポータブルDVDプレーヤー

Wizz CPDP-940

取扱説明書
兼 保証書

株式会社 シーマ・ラボラトリー

目次

準備する

再生する

設定する

外部端子

その他

使用上の注意　正しく安全にご使用いただくために必ずお読みください

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■本体、電源コードについて

⚠ 警告	コンセントを抜く	火災・感電の原因となりますので、本体や電源コードが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は、ただちにご使用をやめて、電源コードをコンセントから抜いてください。
	分解禁止	火災や感電の原因となりますので、絶対に分解や改造等を行わないでください。
	禁止	火災や感電の原因になりますので、本体内部に水や異物が入ったときは、ただちにご使用を中止し、電源コードをコンセントから抜いてください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
		火災や感電の原因となりますので、電源プラグはコンセントの根元までしっかり差し込んでください。また、電源プラグに濡れた手で触れないでください。
	コンセントを抜く	ケガや感電の原因となりますので、お手入れの際は必ず電源コードを抜いてから行ってください。また、雷が鳴っているときは、本体、電源コードに触れないでください。落雷すると、感電する恐れがあります。
	コンセントを抜く	火災や感電の原因となりますので、本製品が破損した場合は、そのままご使用にならず、電源コードをコンセントから抜いてください。
	注意	本製品を指定された、電源電圧以外でご使用にならないでください。 指定以外の電源電圧で使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
	禁止	本製品を水で濡らしたり、水滴のかかる場所に置かないでください。海岸や川岸などの水辺や雨天、降雪時の窓辺でのご使用や設置にはご注意ください。また、風呂場や厨房、サウナなど高温多湿な場所ではご使用にならないでください。内部に水が入ると火災、感電、故障の原因になります。

⚠ 注意	禁止	本体を傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。 本体が落下して、破損やケガをする原因になります。
	禁止	本体の内部に異物を入れないでください。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。 また、本製品を乳幼児には触れさせないでください。故障や火災、感電の原因になります。
	コンセントを抜く	火災や感電の原因になりますので、本体内部に水や異物が入ったときは、ただちにご使用を中止し、電源コードをコンセントから抜いてください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
		本体を持ち運ぶときは、過度の衝撃や振動を与えないでください。故障や破損の原因になります。
	禁止	電源コードを傷つけたり、破損、切断、加工をしないでください。また、電源コードを束ねたり、延長、固定、タコ足配線で使用しないでください。発熱などにより、火災、故障の原因になります。 電源コードが傷ついている場合は、ただちにご使用をやめてください。火災や感電の原因になります。
	コンセントを抜く	本製品を移動させるときは、ディスクを取り出し、電源コードをコンセントから抜いてください。 また、長期の外出をするときや長期間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。火災などの原因となります。
	注意	リモコンの電池は極性の向きを正しく入れてください。誤って入れると、破裂、液漏れの原因になります。 また、電池を加熱、分解すると破裂する危険があります。

⚠注意		
注意	禁止	本製品の通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所に設置しないでください。閉めきった車内や、直射日光に当たる場所に設置、放置しないでください。本体内部が高温になり故障の原因となります。
	禁止	走行中、運転されている方は危険ですので、絶対に本製品の操作等をしないでください。
	禁止	通電中の本機や電源コードに長時間触れないでください。長時間皮膚が触れたままになってると、低温やけどの原因となることがあります。
	禁止	本機や電源コードを、布や布団などでおおった状態で使用しないでください。熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。
	禁止	本体内部の部品をさわらないでください。けがの原因になることもあります。また、高温になった部品にさわると、やけどの原因となることがあります。 ケースなどの外装部品が破損しても本体内部の部品には触れないでください。高電圧部品により感電することがあります。
	分解禁止	分解や改造をしないでください。火災や感電の原因となります。点検や修理は、お買い上げ店、または弊社サポートセンターにご依頼ください。

■内蔵のバッテリーパックについて

⚠警告

禁止	バッテリーパックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用・放置しないこと。 バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。	禁止	バッテリーパックを火の中に入れたり、加熱しないこと。 バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。 なお、水に濡れた場合でも加熱用機器などで強制的に乾燥させないでください。
分解禁止	バッテリーパックを分解・改造・修理しないこと。 バッテリーパックでの火災・感電の原因となります。	禁止	バッテリーパックの周りにコップや花びんなど、液体の入った容器を置かないこと。 液体がこぼれて濡れると発熱・破裂・発火の原因となります。
禁止	バッテリーパックを水や汗、海水などでぬらさないこと。 バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。	禁止	バッテリーパックを屋外や浴室など、水がかかる場所に置かないこと。 濡れると、発熱・破裂・発火の原因となります。
禁止	バッテリーパックの端子を針金などの金属で接続しないこと。 バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。	禁止	バッテリーパックを落としたり強い衝撃を与えないこと。 バッテリーパックが発熱・破裂・発火する原因となります。
禁止	バッテリーパックを金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり、保管しないこと。 バッテリーパックがショート状態となり、発熱・破裂・発火したり、ネックレスやヘアピンなどが発熱する原因となります。	禁止	バッテリーパックは付属または指定のバッテリーパックを使用すること。また、バッテリーパックは本製品に使用すること。 バッテリーパックが発熱・破裂・発火の原因となります。
禁止	濡れたバッテリパックを充電しないこと。 発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。 万一、液体がかかってしまった場合は、ただちに本体の電源を切るか、本体からバッテリーパックをはずしてください。	禁止	引火ガスが発生する場所で使用しないこと。 ガスに引火し、火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火ガスが発生する場所では本体の電源を切り、充電もしないでください。
禁止	所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめる。 バッテリーパックが発熱・破裂・発火する可能性があります。	注意	バッテリーパック内部から出た液体が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、眼科の医師の治療を受けること。 そのままにしておくと、目に障害を与える原因となります。
注意	本体・バッテリーパック・ACアダプターに発煙・異臭などの異常が発生したり、破損した時は、すぐに次の作業を行う。 1.使用中（充電中含む）であれば、ACアダプターを家庭用交流100Vコンセントから抜いて下さい。 2.冷えた事を確認し、本体の電源を切り、バッテリーパックを取り外して下さい。 そのまま使用（充電）すると、バッテリーパックが発熱・破裂・発火したり、本体が発熱する原因となります。		

⚠注意

禁止	本体・バッテリーパックを直射日光の強いところや炎天下の車内など、バッテリーパックが高い温度になるところで使用放置しないこと。 バッテリーパックが発熱・発火の原因となります。	禁止	バッテリーパックを幼児の手の届く場所には置かない事。 けがなどの原因となります。また、幼児が誤って飲み込むと、窒息の恐れがあります。
分解禁止	本体とバッテリーパックとの間に水などの液体、金属片、燃えやすいもの、など異物を入れないこと。 火災・感電・故障の原因となります。	禁止	汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないこと。発熱・故障の原因となる場合があります。

ディスクについて

●再生できるディスクについて

ディスクの種類

- 市販のDVD-VIDEO
- CD-R/-RW
- ビデオCD/音楽用CD
- DVD-R/-RW （ファイナライズ済ディスク）
- DVD+R/+RW （ファイナライズ済ディスク）

●CD/DVDについてのご注意

本機は以下のフォーマットで記録したCD-ROM/CD-R/CD-RWを再生できます。

- 音楽用フォーマット
- ビデオCDフォーマット
- ISO9660 レベル1/Joliet準拠の
  MP3音声トラック
  JPEG画像ファイル
  動画ファイル（MPEG/MPEG-2/Xvid）

本機は以下のフォーマットで記録したDVD-ROM/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWを再生できます。

- UDF（ユニバーサルディスクフォーマット）準拠のMP3音声トラック、JPEG画像ファイル、動画ファイル

本機は録画したデジタル放送の番組を再生できる、CPRM★に対応しています。

- DVDに記録した地上デジタル放送やBSデジタル放送は、著作権保護のためCPRM対応プレーヤーでなければ再生できません。
  ★CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは、録画回数に制限がある番組に対する著作権保護技術です。

●再生できないディスクについて

本機では以下のディスクなどを再生することはできません。

- Blu-rayディスク
- AVCHD記録ディスク
- HD DVD
- DVD-RAM
- フォトCDフォーマットで記録したCD-ROM
- CD-EXTRAのデータ部分
- DVDオーディオ
- MP3/JPEG画像/動画ファイルを含まないデータDVDおよびデータCD
- スーパーオーディオCDのHD（ハイデンシティ）レイヤー
- このページで記載のフォーマット以外で記録したCD-ROM/CD-R/CD-RW

次のようなディスクも再生できません。

- 本機では再生できないリージョンコード（地域番号）の市販のDVD
- 円形以外の特殊な形状（カード型・ハート型など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出たり、はがした痕のあるディスク
- 傷の多いディスク

●再生時のご注意

記録済みのCD-R/-RW、DVD-R/-RW、DVD+R/+RWは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、CD/DVD書き込みソフトの特性が原因で再生できないものがあります。

データ再生に関しては、エンコード方法などによって再生できないものもあります。

記録型DVDの記録終了時に終了情報を記録する「ファイナライズ」作業を行っていないディスクは再生できません。（詳しくはレコーダー等の取扱説明書をお読みください）

記録型メディアによっては、適切にファイナライズ作業が行われていても本機のいくつかの再生機能が使えなかったり、ディスクが正常に再生できない場合があります。また、パケットライト方式およびマルチセッションで作成されたデータCD/データDVDには、再生できないものがあります。

本製品はコンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものがあり、本製品では再生できない場合があります。

DVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせたDual Discの音楽専用面は、コンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

Blu-ray/DVDハイブリッドディスクは、記録方式が従来のDVD規格とは異なるため、本製品での再生は保証いたしません。

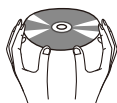
●DVD、ビデオCD再生時の操作について

DVD、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態があらかじめ決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。
再生するディスクに付属する取扱説明書も必ずご覧ください。

●リージョンコード（地域番号）について

リージョンコードは著作権保護を目的に設けられた制度です。市販のDVDビデオのパッケージには、販売地域によって、リージョンコードが表示されています。地域番号に「ALL」、または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。

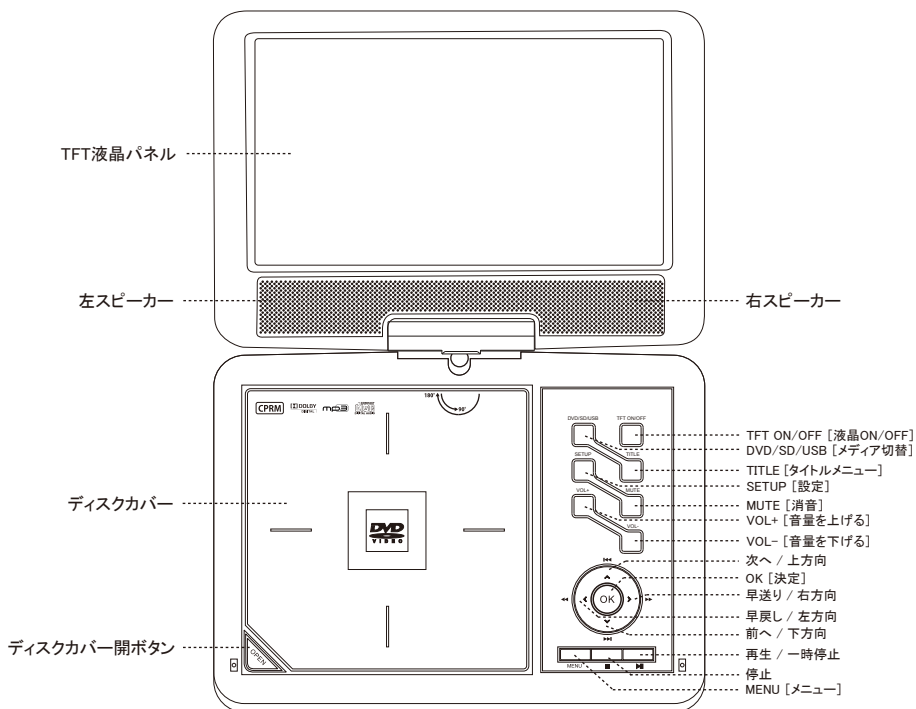
●ディスクの取扱いについて

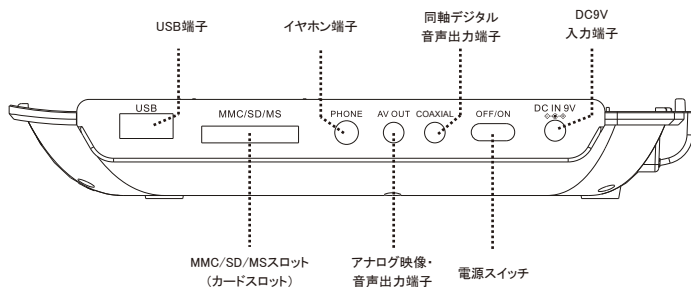
・再生面に手を触れないように持ちます。

・直射日光が当たるところなど、温度の高いところ、湿度の高いところには置かないでください。
・ケースに入れて保管してください。
・指紋やほこりなどによるディスクの汚れは、映像・音声の乱れの原因となります。取扱いには十分ご注意ください。
・ディスクのお手入れは、ディスクの取扱説明書等をご覧ください。
・ディスクを絶対に曲げないでください。破損や変形の原因となり、再生できなくなる場合があります。

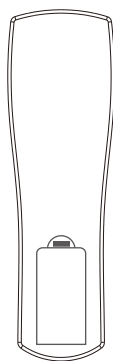
製品内容

・ DVDプレーヤー本体
・ 車載用シガーソケットアダプター
・ リモコン
・ 車載用バッグ
・ AC電源アダプター
・ 音声・映像ケーブル
・ リモコン用単四形乾電池（試供品） 2本
・ イヤホン
・ 取扱説明書 兼 保証書 （本書）

各部の名称

●液晶部、操作部

各部の名称

●側面

準備する

リモコンを使う

リモコン裏面のカバーを開けて、単四形乾電池2本を左図のとおりに取り付け、カバーを閉めます。

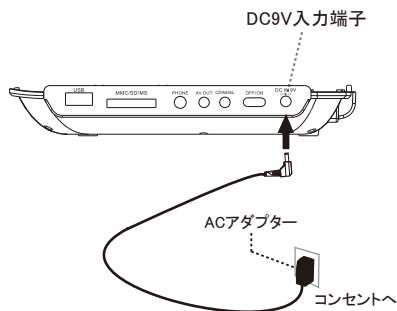
（単四形乾電池2本）

■ご注意ください

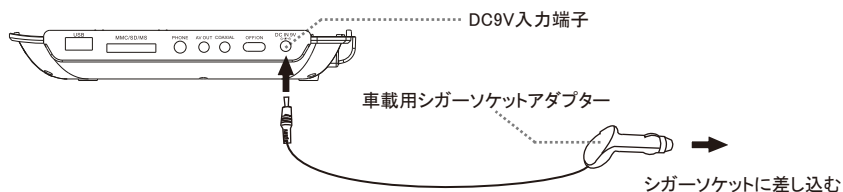
- リモコンを使用する場合は、本体の受信部に向けて操作してください。
- 使用範囲は本体受信部正面から約5m、左右各30度以内で使用してください。
  ※操作可能範囲は使用状況により変わります。
- 本体受信部に直射日光や強い照明が当たった場合、受信部が破損し、受信できなく恐れがありますので、ご注意ください。
- リモコンを投げる、落とすなど過度の衝撃を与えないでください。
- リモコンを水に濡らしたり、湿度の高いところでは、使用、保管をしないでください。
- 乾電池を入れ替えたときに、リモコンが正しく動作しないときがあります。このようなときは、乾電池を一度取り出し、5分以上経ってから再度入れ直してください。
- リモコンを分解、改造、修理をしないでください。また他の機器には使用しないでください。

ACアダプターを使う

1. 本体のDC9V入力端子にACアダプターの出力ジャックを差し込みます。
2. ACアダプターをコンセントに差し込みます。

■ご注意ください
- 規格以外のACアダプターを使用された場合、故障や破損の原因となりますので使用しないでください。
- 使用しない時、お手入れや点検を行うときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ご注意ください
- テレビと接続する際は、必ず本製品とテレビの電源を切ってから行ってください。
- 端子は奥までしっかり差し込んでください。映像や音声が正常に出ない場合があります。

車載用シガーソケットアダプターを使う

1. 本体のDC9V入力端子に車載用シガーソケットアダプターの出力ジャックを差し込みます。
2. シガーソケットアダプターを車のシガーソケットに差し込みます。

■ご注意ください
- シガーソケットアダプターは12V車専用です。12V以外のシガーソケットには使用しないでください。
- 本製品を運転中に使用しないでください。事故の原因となります。
- 車内に本体やアダプターを放置しないでください。特に高温になると本体が変形したり、故障の原因となります。

液晶パネルの回転

液晶画面は開いた状態で、時計回り（右方向）に180度、反時計回り（左方向）に90度回転します。
回転させる際は、液晶画面の縁と本体部分をしっかり持って丁寧にゆっくり回転させてください。

■ご注意ください

・液晶パネルを回転させるときにパネル部に触れないようにご注意ください。また、必要以上の力で回転させたり無理にパネル関節部を折り曲げると破損の原因となりますのでご注意ください。

※ 液晶パネルは、時計回りに180度以上、反時計回りに90度以上回転しません。無理に力を入れ回転させようとすると本体が破損し、感電や怪我をするおそれがありますので、回転させる際は、丁寧にゆっくりと行ってください。

車載用バッグを使う

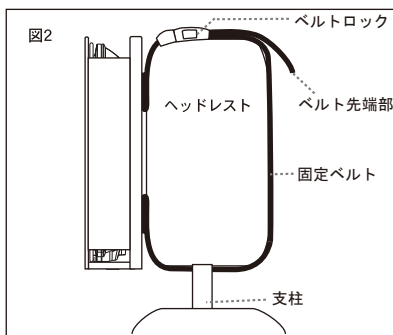
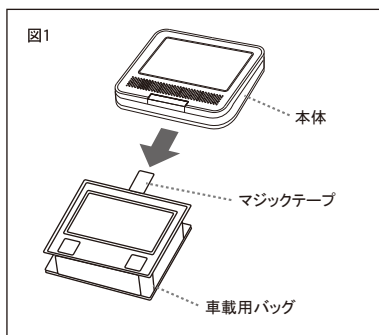
車載用バッグを使って自動車のヘッドレストに装着することができます。

1. 本体の液晶パネルを時計回りにゆっくり180度回転させます。

2. 車載用バッグに収納し、上部をマジックテープで閉め、本体が動かないようにしっかり固定します。（図1）

3. ヘッドレストの支柱の内側に固定ベルトをとおし、巻き付けベルトロックが“カチッ”と鳴るまで差し込んでください。ベルト先端部を引っ張り、しっかりと車載用バックを固定します。（図2）

■ご注意ください

・車載用バッグは、背もたれとヘッドレスト一体型シートには対応してません。
また、特殊な形状のヘッドレストにも対応しない場合があります。
・車載専用DVDプレーヤーではありませんので、車内に放置したままにしないでください。
・エアバッグ動作の妨げになる場合、取り付けをしないでください。エアバッグそのものが動作しなかったり、エアバッグ展開時に本体が破損し、怪我などをするおそれがあります。
・車載用バッグは時間の経過とともに少しずつベルトが緩む可能性があります。運転前に必ず車載用バッグの取付状況をご確認して頂き、異常がある場合は使用しないでください。事故や怪我の原因となります。

DVDを再生する

●基本操作

1）本体の電源を入れます。
2）本体の“OPEN”ボタンを押して、ディスクカバーを開けます。
3）ディスクのラベル印刷面を上にして、ディスクホルダー中央部にディスクをやさしく入れ、この時、“カチッ”という音がしたのを確認してください。
4）ディスクカバーを閉じます。
※ ディスク面が間違っていたり、トレーの凹みにきちんと置いていない場合は、“ディスク無し”と表示されます。
※ ディスクによっては、自動的に再生しないものや、メニュースクリーンが再生されないものがあります。
5）決定ボタン、または再生ボタン（▶II）を押すと再生が始まります。ディスクによっては自動的に再生が始まります。

画面にDVDメニューが表示された場合、リモコンの矢印キーで、
お好みのメニューに合わせ、決定ボタンを押します。

DVD再生中に使用できるボタンは、14ページからご覧ください。

■ご注意ください

・電源コードは、電源を切った状態で取り外してください。
・ディスク回転中に突然電源を切ると本体内部の破損の原因となりますので、十分ご注意ください。
・操作中、“⊘”マークの表示が画面に出る場合は、本製品またはディスク側で操作が禁止されていることを意味します。
・ディスクの再生中にメニュー画面が表示されたり、操作内容が表示されたときは、表示の指示に従って操作してください。

●ディスクメッセージ

下記メッセージが画面上に表示された場合は、再生ディスクとフォーマット形式が異なることが予想されます。

□ リージョンエラー
本機が再生できる地域（リージョン）“2”と違うディスクを再生しようとした場合に表示されます。
リージョンコード“2”、または、“ALL”以外のディスクは再生できません。

□ パスワード（暗証番号）入力画面
ディスクによっては視聴制限を設けているものがあります。
本機で視聴制限レベルを設定したとき、ディスクとの視聴制限レベルと合わない場合に表示されます。
設定した暗証番号（→ 23ページ）を入力することによって、ロックが解除されます。

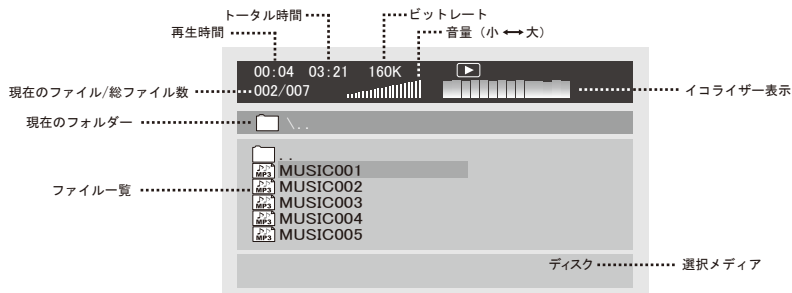
■ご注意ください

・DVDディスクによっては、再生中、操作制限があったり、再生できないディスクもあります。
・本機は全てのディスクの再生能力に対して責任を負いません。記録条件によって再生できない場合があるため、本機の不良ではございません。再生されるディスクの説明書等をご覧ください。

MP3 / JPEG / 動画ファイルを再生する

本機では、データCD（CD-ROM/CD-R/CD-RW）やデータDVD（DVD-ROM/DVD±R/DVD±R DL/DVD±RW）に記録されている、MP3ファイルやJPEGファイル、動画ファイルを再生できます。
データCDやデータDVDを入れるとプレイリストが表示されます。 [?] マークのファイルは再生非対応ですが、アイコンが正常に表示されていても再生できないファイルもございます。

●基本操作

● MP3ファイルを再生する

MP3再生画面

・再生したいファイルの選択方法

上・下方向ボタンでファイルを選択し、「決定」ボタンを押すと選択したファイルが再生されます。
フォルダーを移動する場合は、ファイル一覧の“ . . ”やフォルダーを選択し「決定」ボタンを押します。

・MP3ファイル再生中に使用できるボタン

方向ボタン、決定ボタン
→ フォルダやファイルの選択をします。

再生/一時停止ボタン
→ 選択したファイルを再生/一時停止します。

停止ボタン
→ 再生を停止します。

前へ
→ 1つ前のファイルを再生します。

次へ
→ 次のファイルを再生します。

早戻し
→ 14ページをご覧ください。

早送り
→ 14ページをご覧ください。

リピート 4

リピートボタン
→ 16ページをご覧ください。

音声 3

音声ボタン
→ 16ページをご覧ください。

プログラム 6

プログラムボタン
→ 17ページをご覧ください。

ABリピート 5

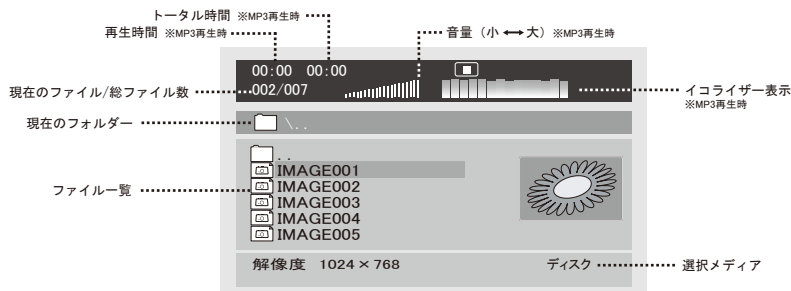
部分リピートボタン
→ 17ページをご覧ください。

音量+ 音量-

音量ボタン
→ 音量を調整します。

消音

消音ボタン
→ 音を消します。詳細は15ページをご覧ください。

● JPEGファイルを再生する

・表示したいファイルの選択方法

上・下方向ボタンでファイルを選択し、「決定」ボタンを押すと選択したファイルが表示され、スライドショーが始まります。
フォルダーを移動する場合は、ファイル一覧の“ . . ”やフォルダーを選択し「決定」ボタンを押します。

・JPEGファイル再生中に使用できるボタン

方向ボタン、決定ボタン
→ ファイル一覧表示ではフォルダーやファイルの選択をします。
画像再生中は左右反転や画像回転させることができます。

再生/一時停止ボタン
→ 選択したファイルを再生/一時停止します。

停止ボタン
→ 再生を停止し、サムネイル表示します。

前へ
→ 1つ前のファイルを再生します。

次へ
→ 次のファイルを再生します。

プログラム 6

プログラムボタン
→ 17ページをご覧ください。

リピート 4

リピートボタン
→ 16ページをご覧ください。

ズーム 8

ズームボタン
→ 18ページをご覧ください。

メニュー

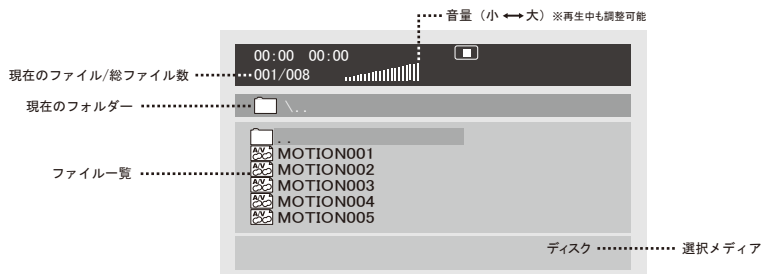
メニューボタン
→ 画像表示をやめ、ファイル一覧に戻ります。

タイトル

タイトルボタン
→ 画像表示をやめ、ファイル一覧に戻ります。

■ご注意下さい

・JPEGファイルは、記録されたファイル数やサイズによって読み込みに時間がかかる場合があります。
・ファイルの作成方法などによって、再生できないファイルがあります。
・ファイルは記録された順に表示されます。
・MP3 PROで記録された音声、および動画ファイルは再生できません。
・日本語のファイル名や長いファイル名は正常に表示されない場合がございます。

● 動画ファイルを再生する

・再生したいファイルの選択方法

上・下方向ボタンでファイルを選択し、「決定」ボタンを押すと選択したファイルの再生が始まります。
フォルダーを移動する場合は、ファイル一覧の“ ..”やフォルダーを選択し「決定」ボタンを押します。

・動画ファイル再生中に使用できるボタン

方向ボタン、決定ボタン
→ フォルダやファイルの選択をします。

再生/一時停止ボタン
→ 選択したファイルを再生/一時停止します。

停止ボタン
→ 再生を停止します。

前へ
→ 1つ前のファイルを再生します。

次へ
→ 次のファイルを再生します。

表示 1
表示ボタン
→ 16ページをご覧ください。

音声 3
音声ボタン
→ 16ページをご覧ください。

リピート 4
リピートボタン
→ 16ページをご覧ください。

ズーム 8
ズームボタン
→ 18ページをご覧ください。

スロー
スローボタン
→ 14ページをご覧ください。

タイトル
タイトルボタン
→ 画像表示をやめ、ファイル一覧に戻ります。

メニュー
メニューボタン
→ 画像表示をやめ、ファイル一覧に戻ります。

消音
消音ボタン
→ 音を消します。詳細は15ページをご覧ください。

音量+ 音量−
音量ボタン
→ 音量を調整します。

■ご注意下さい

・動画ファイルは、記録されたファイル数やサイズによって読み込みに時間がかかる場合があります。
・ファイルの作成方法などによって、再生できないファイルがあります。
・ファイルは記録された順に表示されます。
・MP3 PROで記録された音声、および動画ファイルは再生できません。
・日本語のファイル名や長いファイル名は正常に表示されない場合がございます。

ボタン操作について

●再生/一時停止ボタン

ディスクの再生、場面や曲の一時停止に使用します。ディスク停止中にこのボタンを押すと再生を開始し、もう一度押すと一時停止します。一時停止中はディスクが回転しています。

●停止ボタン

停止ボタンを一度押すと、一時停止になります。二回押すと完全に停止します。
レジューム機能を使用する場合は、停止ボタンで一時停止させて電源を切ってください。

■ご注意ください
・レジューム機能が有効なのはDVD-Videoです。録画されたDVDやCDなどは対応しません。
・DVDディスクによっては、操作制限等があり、正常に動作しない場合があります。

●頭出し(次)/(前) ボタン

次のチャプターやトラックへ移動します。

前のチャプターやトラックへ移動します。

■ご注意ください
・DVDディスクによっては操作制限があり、操作できない場合があります。
・シングルチャプター、シングルトラックのディスクは頭出し機能は使用できません。

●早送り/早戻しボタン

ディスクの再生中にこのボタンを押すごとに、下記の倍速で早送り再生します。

2倍速 → 4倍速 → 8倍速 → 16倍速 → 32倍速 → 再生(等速)

ディスクの再生中にこのボタンを押すごとに、下記の倍速で早戻し再生します。

2倍速 → 4倍速 → 8倍速 → 16倍速 → 32倍速 → 再生(等速)

※通常の再生速度に戻す場合は、再生ボタンを押すか、早送り/早戻しボタンを押して戻します。

■ご注意ください
・DVDディスクによっては操作制限があり、操作できない場合があります。
・早送り、早戻し中は音声出力されません。

●スローボタン (リモコンのみ)

ディスクの再生中にこのボタンを押すごとに、下記の速度で再生されます。
通常の再生速度に戻す場合は、再生ボタンを押してください。

→【スロー】 1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16 →【逆スロー】1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16 → 再生

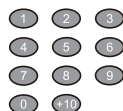
■ご注意ください
・スロー再生中は音声出力されません。

●コマ送りボタン (リモコンのみ)

ディスク再生中に、このボタンを押すたびにコマ送り再生します。再生ボタンを押すと通常再生に戻ります。

■ご注意ください
・コマ送り再生中は音声は出力されません。

●数字入力ボタン （リモコンのみ）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 +10

チャプターやトラックなどをダイレクトに選択します。
※10以上のチャプター、トラックなどを選択する場合は「+10」を先に押します。

●メニュー（MENU）ボタン

メニュー

このボタンを押すと、DVDのメニュー画面が表示されます。ディスクによっては、この操作が制限されている場合があります。（VRモード使用不可）

●タイトル（TITLE）ボタン

タイトル

このボタンを押すと、DVDのタイトル画面が表示されます。ディスクによっては、この操作が制限されている場合があります。（VRモード使用不可）

●再生メディア切替ボタン

DVD/SD/USB

再生するメディアを切り替えます。対応しないSDカード、USBメモリーはエラーとなります。

●音量＋/－（VOL＋/－）ボタン

音量+ 音量-

本機から出力する音量を調整します。

●消音ボタン （リモコンのみ）

消音

音声を消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

●設定（SETUP）ボタン

設定

このボタンを押すと、設定画面を呼び出します。
詳しくは、19ページをご覧ください

●TFT ON/OFFボタン（本体のみ）

TFT ON/OFF

画面を消します。もう一度押すと元に戻ります。

●シフト機能ボタン（リモコンのみ）

このボタンを押すと、画面右下に"⇧S"マークが表示され、リモコン数字1～8の上に表記された機能に切り替わります。もう一度押すとシフト機能が解除されます。

●表示ボタン（シフト機能 ⇧S）（リモコンのみ）

このボタンを押すと、再生時間や残り時間等が表示されます。

●DVD再生の場合

タイトル再生時間 → タイトル残り時間 → チャプター再生時間 → チャプター残り時間 → 表示オフ

●音楽CD再生の場合

シングル再生時間 → シングル残り時間 → トータル再生時間 → トータル残り時間

●動画ファイル再生の場合

シングル再生時間 → シングル残り時間 → 表示オフ

●字幕ボタン（シフト機能 ⇧S）（リモコンのみ）

DVDディスクによっては字幕が記録されているものがあります。このボタンを押すことによって、字幕の選択をしたり、非表示にしたりします。（VRモード使用不可）

■ご注意ください
- この機能はDVDディスクに字幕情報が記録されていなければ使用できません。
- ディスクによっては、DVDのメニュー画面のみで設定可能な場合があり、再生中、この操作ができない場合があります。
- ディスクによっては、複数の言語が記録されている場合があります。

●音声ボタン（シフト機能 ⇧S）（リモコンのみ）

DVDディスクによっては音声、サウンドトラックが複数のチャンネルで記録されているものがあります。このボタンを押すことによって、それらのチャンネルを切り替えることができます。
VRモードで音声チャンネルを切り替える場合は「デュアルモノラル設定」（21ページ）をご覧ください。

■ご注意ください
- この機能はDVDディスクに音声情報が記録されていなければ使用できません。
- ディスクによっては、DVDのメニュー画面のみで設定可能な場合があり、再生中、この操作ができない場合があります。

●リピートボタン（シフト機能 ⇧S）（リモコンのみ）

特定のタイトル、チャプター、トラックを繰り返し再生することができます。

- DVD再生中（VRモード使用不可）
  チャプター → タイトル → オール
- 音楽CD再生中
  トラック → オール
- MP3ファイル再生中
  シャッフル → ランダム → シングル再生 → シングルリピート → フォルダリピート
- JPEG画像ファイル再生中
  シャッフル → ランダム → シングル再生 → シングルリピート → フォルダリピート
- 動画ファイル再生中
  シャッフル → ランダム → シングル再生 → シングルリピート → フォルダリピート

■ご注意ください
- DVDディスクによっては操作制限があり、この操作ができないものもあります。
- CDやMP3、JPEG、動画データは、記録状態によって、この操作ができない場合があります。

●ABリピートボタン（シフト機能 ⇧S）（リモコンのみ）

設定範囲（AからBまで）を繰り返し見たり、聴いたりすることができます。

1. 映像や音楽を再生中、繰り返し見たいシーンや聴きたい位置で、リモコンの「ABリピート」ボタンを押し、画面上に“A”と表示させ、開始位置を設定します。
2. 終了位置で、もう一度「ABリピート」ボタンを押すと、画面上に“AB”と表示され、指定の範囲で繰り返し再生します。
3. 「ABリピート」ボタンを押すと、設定範囲をキャンセルできます。また、停止ボタンを押したり、電源が切れると、設定範囲がクリアされます。

■ご注意ください

・部分リピート再生は同一タイトル内で設定してください。
・部分リピート再生はマルチアングル部分では働きません。
・ディスクによっては操作制限があり、この操作ができない場合もあります。

●プログラムボタン（シフト機能 ⇧S）（リモコンのみ）

プログラム
6

チャプターやトラックの再生をお好みの順序に設定し再生します。

■ DVDの場合

01	TT:	CH:	06	TT:	CH:
02	TT:	CH:	07	TT:	CH:
03	TT:	CH:	08	TT:	CH:
04	TT:	CH:	09	TT:	CH:
05	TT:	CH:	10	TT:	CH:
		終了			▶▶I

・“TT”にタイトル番号、“CH”にチャプター番号を入力します。
・番号を入力すると、“終了”の右側に“スタート”が表示され、“スタート”を選択するとプログラム再生が開始します。
・“▶▶I”ボタンで次のページに移動します。最大20登録できます。
・タイトル情報が無いなど、ディスクによっては下記「音楽CDの場合」の画面になることがあります。

■ 音楽CDの場合

・“_ _”にトラック番号を入力します。
・番号を入力すると、“終了”の右側に“スタート”が表示され、“スタート”を選択するとプログラム再生が開始します。
・“▶▶I”ボタンで次のページに移動します。最大20登録できます。

■ご注意ください

・DVD-VRではプログラム再生できません。
・ディスクによっては制限がありプログラム再生できない場合もあります。
・停止したり、電源を切ると、プログラム再生はリセットされます。再度設定してください。

■ MP3再生の場合

メディア内のすべてのファイルを表示するファイル一覧とフォルダー内のファイルのみ表示するフォルダー表示との切り替えをします。

■ JPEG再生の場合

① スライドショー再生時は画像切り替え時の効果を変更します。
リピートボタンを押すごとに下記の順に切り替わります。

上から下へ画像切替
下から上へ画像切替
左から右へ画像切替
右から左へ画像切替
左上から画像切替
右上から画像切替
左下から画像切替
右下から画像切替
中心から上下に画像切替
中心から左右に画像切替
上下から中心に画像切替
左右から中心に画像切替
すだれ状に上下に画像切替
すだれ状に左右に画像切替
周辺から中心に画像切替
上から移動

② ファイル表示をしている時は、ファイル一覧とフォルダー表示との切り替えをします。

●アングルボタン（シフト機能 ⇧S）（リモコンのみ）

DVDディスクによっては、同時にいくつかの違うカメラアングルから撮影されたシーンが記録されている場合があります。これらのディスクでは同じ場面を違った角度から鑑賞することができます。
VRモードでは動作しません。

■ご注意ください
・アングル機能がDVDディスクに記録されていなければ使用できません。
・対応するディスクはDVDディスクのパッケージや取扱説明書をご覧ください。

●ズームボタン（シフト機能 ⇧S）（リモコンのみ）

ディスクの再生中にこのボタンを押すごとに、下記の順で画面を拡大、縮小します。

■ DVD再生、動画ファイル再生の場合

【ズーム】2× → 3× → 4× → 1/2 → 1/3 → 1/4 → 元のサイズ

■ JPEG再生の場合

ズーム 100% → ズーム125% → ズーム150% → ズーム200% → ズーム75% → ズーム50%

設定画面を使う

●設定画面と設定画面の基本操作方法

「設定(SETUP)」ボタンを押すと下記の画面が表示されます。

設定画面

設定画面の基本操作方法

・リモコン、または本体の「上・下・左・右方向」ボタンと「決定(OK)」ボタンを使用します。
視聴制限の設定では、数字ボタンも使用します。

・「左・右方向」ボタンで設定項目を選択し、「下方向」ボタンで各項目の内容の設定に移ります。

・各項目の設定は「右方向」ボタンで選択します。

・設定画面を終了するには「設定(SETUP)」ボタンを押します。

●一般設定

映像出力タイプ

接続するテレビの画面の種類を設定します。
ワイドテレビ(16:9)、または、従来のテレビ(4:3)から選択します。

16:9(ワイド映像)・・・ワイドテレビでワイド映像を再生するとき、
画面いっぱいに映像を再生します。実際に映し出される映像は、
ワイドテレビのスクリーンモードの設定に依存します。

4:3LB(レターボックス)・・・ワイド映像を従来のテレビに出力
再生するときに、上下に黒い帯をつけて再生します。

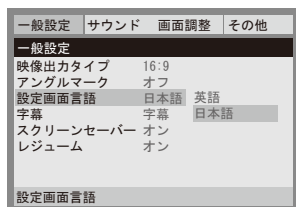
4:3PS(パンスキャン)・・・ワイド映像のディスクを映像の
左右をカットした状態で再生します。

■ご注意ください
・設定を変更する場合、必ず停止状態で行ってください。
・ディスクや記録状態によって設定できない場合があります。

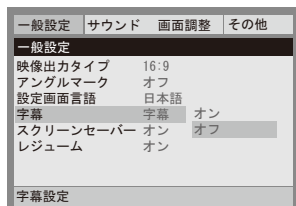
アングルマーク

アングル情報が書き込まれたDVDビデオを再生したとき、
画面に常にアングルマークを表示させるか設定します。

アングルマークを表示していなくても、アングル機能はご使用
いただけます。

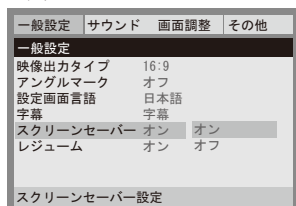
設定画面言語

設定画面の表示言語を設定します。

日本語、または英語が選択できます。

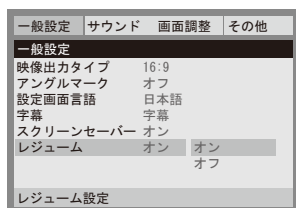
字幕

字幕の言語を設定します。

オン、オフの選択ができます。

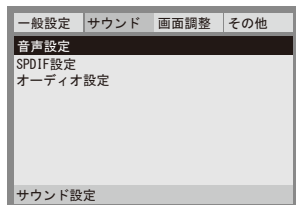
■ご注意ください
・設定を変更する場合、必ず停止状態で行ってください。
・ディスクによって設定できない場合があります。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーと自動電源停止機能を設定します。
本機が停止状態で一定時間経過すると、自動的にスクリーンセーバーが作動します。

■ご注意ください
・DVDディスクによってはメニュー画面などでスクリーンセーバーが作動しない場合があります。

レジューム

前回電源を切ったところから再生を開始します。
DVDビデオ再生中に停止ボタンを押して、電源を切るとレジューム機能が有効になります。
ディスクを取り出すとレジューム機能は働きません。

■ご注意ください
・ディスクによっては正常に作動しない場合があります。
・プログラム再生中は働きません。

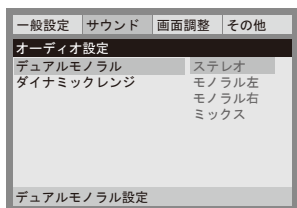
●サウンド

SPDIF設定とオーディオ設定ができます。

SPDIF設定

同軸デジタル出力端子を使用するときの音声方式を選びます。
接続するアンプ等の取扱説明書をご覧になり、設定してください。

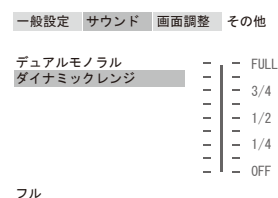
付属のAVケーブルでテレビ等につなげる場合は、「OFF」に
設定してください。

オーディオ設定

デュアルモノラル設定

二カ国語放送など、音声多重で記録された番組などの音声を
切り替えます。

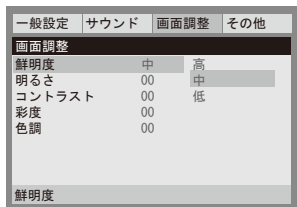
ステレオ・・・主音声、または、主音声／副音声
モノラル[左]・・・主音声
モノラル[右]・・・副音声
ミックス・・・主音声／副音声

「ステレオ」でスピーカーから別々の音声が同時に聞こえる場合は、
「モノラル[左]」か「モノラル[右]」を選択してください。
（番組によって切替ができない場合があります）

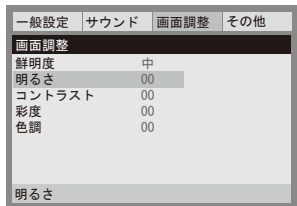
ダイナミックレンジ設定

ドルビーデジタル再生時に、音量を平均化し聞きやすくする
機能です。

「上・下方向」ボタンで選択します。

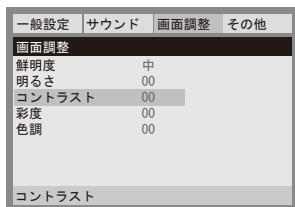
●画面調整

鮮明度

液晶パネルの鮮明度を設定します。

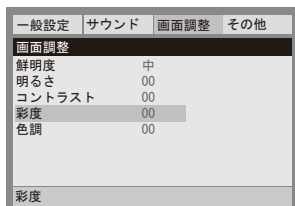
“高”、“中”、“低”から「上・下方向」ボタンで選択します。

明るさ

液晶パネルの明るさを設定します。

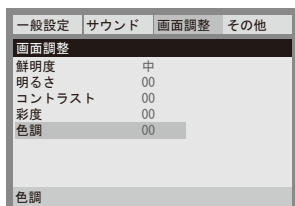
「左・右方向」ボタンで数字を選択して調整します。
大きい数字ほど明るくなります。

コントラスト

液晶パネルのコントラストを設定します。

「左・右方向」ボタンで数字を選択して調整します。

彩度

液晶パネルの彩度を設定します。

「左・右方向」ボタンで数字を選択して調整します。

色調

液晶パネルの色調を設定します。

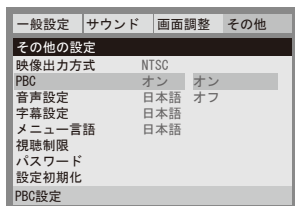
「左・右方向」ボタンで数字を選択して調整します。

●その他

映像出力方式

映像信号の出力方式を設定します。

通常は「NTSC」に設定してください。

PBC設定

PBC(プレイバック・コントロール)を有効にするかを設定します。

ビデオCDをご利用になるときのみ有効です。

音声設定

音声の言語を設定します。

ディスクによって設定できる言語、できない言語があります。
詳しくはDVDディスクの取扱説明書をご覧ください。

字幕設定

字幕の言語を設定します。

ディスクによって設定できる言語、できない言語があります。
詳しくはDVDディスクの取扱説明書をご覧ください。

メニュー言語

DVDメニューの言語を設定します。

ディスクによって設定できる言語、できない言語があります。
詳しくはDVDディスクの取扱説明書をご覧ください。

視聴制限

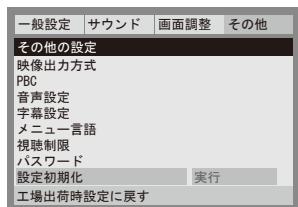
暴力シーンなどお子様に適していないシーンを含むDVDディスクにはパスワード機能によって視聴制限を設けているものもあります。視聴制限で視聴可能レベルを設定し、お子様に適さないシーンが含まれるDVDディスクを再生できないようにします。

■ご注意ください
・視聴制限の設定は、視聴設定のあるDVDディスクのみ有効となります。

パスワード

視聴制限をおこなった場合の解除パスワードを変更します。

初期パスワードは「8888」です。
変更した暗証番号は絶対に忘れないでください。設定を初期化しても元に戻りません。

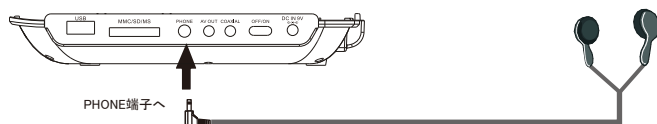
設定初期化

パスワード以外の設定すべてを工場出荷時設定に戻します。

“実行”にカーソルを移動し、「決定（OK）」ボタンを押すと、
設定が工場出荷時の状態に戻ります。

外部端子

イヤホンを使用する

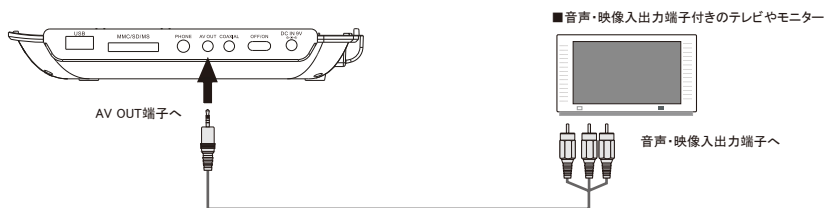
●接続方法

ミニピンプラグのイヤホンやヘッドホンに対応します。

■ご注意ください

・お使いになる前に音量を最小にし、徐々にお好みの音量に調整してください。また大音量で超時間使用すると聴力に影響を及ぼす恐れがありますのでご注意ください。

テレビやモニターとつなぐ

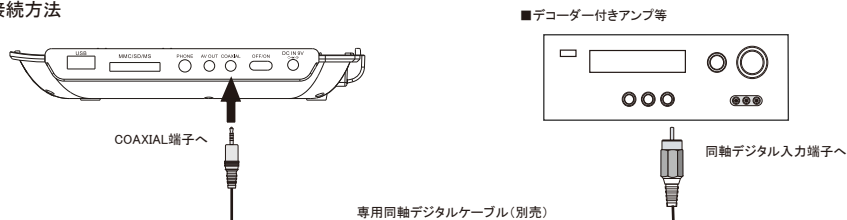
●接続方法

付属の音声・映像ケーブルを使用して、テレビやモニターに音声・映像を出力することができます。

■ご注意ください

・テレビと接続する際は、必ず本製品とテレビなどの電源を切ってから行ってください。
また接続する機器の取扱説明書をご確認ください。
・テレビに接続して本製品を使用する場合、必ず液晶パネルが開いた状態で使用して下さい。

ドルビーデジタル対応アンプとつなぐ

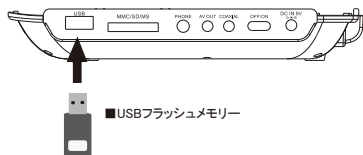
お使いのAVアンプ等にドルビーデジタルデコーダーが内蔵されており、同軸デジタル端子がある場合に、ご使用いただけます。

●接続方法

■ご注意ください

・テレビと接続する際は、必ず本製品とテレビなどの電源を切ってから行ってください。
また接続する機器の取扱説明書をご確認ください。

USB端子を使用する

USB端子を使用して、USBフラッシュメモリーから音声・画像・動画を再生することができます。

●接続方法

■ USBフラッシュメモリーからの再生に切り替える

1.USBフラッシュメモリーを差し込みます。
2.「DVD/SD/USB」ボタンを押し、USBに切り替えます。

■USBフラッシュメモリーを取り外す場合は、読み込みをしていない時に抜いて下さい。

●MP3ファイル再生中の場合

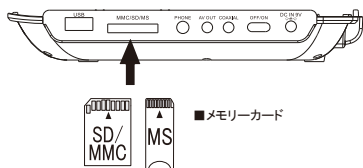
「停止」ボタンを押して、再生を停止させてからUSBフラッシュメモリーを取り外します。

●動画ファイル、JPEGファイル再生中の場合

「メニュー」ボタンを押して、ファイル一覧画面にしてからUSBフラッシュメモリーを取り外します。

MMC/SD/MSスロットを使用する

MMC/SD/MSスロットを使用して、MMC/SD/MS（以下、メモリーカード）から音声・画像・動画を再生することができます。

●接続方法

■ メモリーカードからの再生に切り替える

1.メモリーカードを差し込みます。
2.「DVD/SD/USB」ボタンを押し、カードに切り替えます。

■メモリーカードを取り外す場合は、読み込みをしていない時に抜いて下さい。

●MP3ファイル再生中の場合

「停止」ボタンを押して、再生を停止させてからメモリーカードを取り外します。

●動画ファイル、JPEGファイル再生中の場合

「メニュー」ボタンを押して、ファイル一覧画面にしてからメモリーカードを取り外します。

■ご注意下さい

・ USBフラッシュメモリー、メモリーカードにアクセスしているときは、取り外しを行わないでください。データが破壊されるおそれがあります。
・ 本機に搭載されているUSB端子は、USBフラッシュメモリーのみ対応します。他の機器を接続すると本機や外部機器の故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。
・ USBフラッシュメモリーやメモリーカードによっては対応しないものもあります。

故障かな？と思ったら

画面が白黒になる	・設定ボタンを押して、「画面設定」の「映像信号方式」が「自動」か「NTSC」になっているか確認してください。（→ 22ページ）
電源が入らない	・電源コードの接続を確認してください。
再生できない / 画面に表示されない	・ディスクが中に入っているか確認してください。 ・機器が適切に接続されていることを確認してください。 ・ディスクの汚れ、傷を確認してください。 ・テレビの電源、映像入力モードが正しく設定されているか確認してください。 ・パソコンやレコーダーで記録した記録型のディスクは再生できない場合があります。（→ 4ページ） ・ディスクのリージョンコードが「ALL」または「2」か確認してください。 ・結露が考えられます。電源を入れた状態で、数時間待ってから再生してください。 ・本体が熱を持っている場合は、約30分程度時間をおいてからご使用ください。
画像が乱れる	・ディスクが汚れたり、傷ついてないか確認してください。汚れているときはディスクを清掃してください。 ・本製品が、ビデオレコーダーやケーブルテレビチューナーなどの映像入力端子に接続されていないか確認してください。これらの機器に接続されているとコピーガードが働き画像が乱れますので、本機をテレビに直接接続してください。
雑音や音声が乱れる	・機器が適切に接続されているか確認してください。 ・近くに強い磁気を帯びたものがある場合は、離してお使いください。
画面に「不明ディスク」と表示される	・本機に対応しないディスクを再生しようとしていないか確認してください。 ・パソコンやレコーダーで記録した記録型のディスクは再生できない場合があります。（→ 4ページ） ・ディスクの汚れ、傷を確認してください。
音が出ない	・本機やテレビのボリューム（VOL）、消音機能を確認してください。 ・適切に接続されているか確認してください。 ・一時停止、早送り/早戻し、スロー、ステップ機能実行中は音声が出力されません。
リモコンが機能しない	・電池の向きを確認してください。 ・電池が消耗している場合は交換してください。 ・本機とリモコンの間に障害物がある場合は、取り除いてください。

お手入れについて

●レンズのクリーニング
レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり、画像が乱れる場合があります。
このような場合はご自分でクリーニングしないでください。故障の原因となります。

●結露
結露が発生した場合、ディスクを本機に挿入すると、ピックアップレンズやディスクに水滴がつくことにより、
ディスク信号が読み取れず正常に動作しないことがあります。本機はよく乾燥した状態でお使い下さい。
結露が発生してしまった場合は、本体の電源を入れたまま、最低2時間は乾燥のために放置してください。

●本体のお手入れ方法
柔らかい布で乾拭きをしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で5〜6倍に薄めて布に浸し、
よく絞った後に本体を拭きます。その後、必ず乾いた布で再度本体を拭いてください。
アルコールやシンナー等が付着すると、印刷や塗装がはげる場合がありますのでご注意下さい。
お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

主な仕様

品名	ポータブルDVDプレーヤー
パネルサイズ	9インチワイド
液晶駆動方式	TFTアクティブマトリックス
液晶解像度	640×234ピクセル
電源定格	AC100V 50/60Hz 0.5A / DC9V 1.5A
バッテリー	リチウムイオン
消費電力	8W(最大)
最大外形寸法	約240×180×43mm (最大突起部を含む)
本体質量	約970g(バッテリー含む)
許容動作温度	0℃～40℃
ACアダプター	AC100V 50/60Hz
カーアダプター	DC12V ※24V車不可
映像信号方式	NTSC / PAL / 自動
映像出力	対応(アナログ)
音声特性	2チャンネルアナログ、5.1チャンネルデジタル
音声出力	1.5W×2 スピーカー 、 3.5mmミニジャック×1、 3.5mmフォンジャック×1
アンチショック機能	あり
対応ディスク	DVD-Video DVD-R / DVD-RW (VRモード/CPRM再生対応) DVD+R / DVD+RW DVD-R DL / DVD+R DL (VRモード/CPRM再生非対応) 音楽CD (CD規格準拠のものに限る) CD-R / CD-RW (音楽用CDフォーマットデータ、MP3/JPEG/動画ファイル)

※仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

長年ご使用の製品点検を

このような事は ありませんか？	・電源コードや電源プラグが異常に熱い。 ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 ・製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ・その他の異常・故障がある。	ご使用を 中止	・故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談下さい。